

令和4年度

“村政運営”の基本方針

山田村長が今年度、どのような考えで、どのような事業に取り組んでいくのかを見ていきましょう！



01 新型コロナウイルス感染症への対応

「感染拡大の防止」「日常生活や社会経済活動の維持」の二つの軸を中心に取り組みます。希望する方が早期に3回目のワクチン接種を受けられるよう、引き続き体制を整えます。また、住民や事業者を支援する施策を的確に講じることで、村内の消費喚起を高め、地域経済の活性化を図ります。

02 第6次総合計画の推進

まず、「人づくり」として「東海村つながるプロジェクト(T-プロ)」への取り組みを加速します。「つながるトーク」や「つどえるサロン」の実施により、新たなコミュニティスペースが誕生するなど、一定の成果が表れ始めましたが、住民同士の交流をさらに活性化するため、SNSを使った発信等に挑戦していきます。次に、魅力ある「まちづくり」として、快適な都市環境の整備や豊かな自然環境との共生を進めるとともに、歴史と未来の交流館を活動拠点とし、幅広い世代の皆さんが、村の歴史や文化、スポーツなどを楽しみ、郷土愛を育める取り組みを強化します。

03 選ばれるまちづくりの推進

若い世代や子育て世代をターゲットにした新しい施策を積極的に展開することで、社会全体が人口減少の局面を迎える中でも、本村が「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」として、「選ばれるまち」となれるよう取り組んでいきます。住民のニーズを捉えた行政サービスを提供するほか、多くの転入者を呼び込むため、土地利用の在り方を見直すなど、ハード・ソフトの両面において、戦略的な施策展開に努めます。

04 デジタル化の推進

これからの行政サービスの在り方や働き方に対応するため「とうかい“まるごと”デジタル化構想(まるデジ)」をさらに強化します。電子申請やキャッシュレス決済などのスマートサービスを導入することで、村民がより利用しやすい役場へと転換していくほか、テレワーク等の推進により、職員の働き方改革や生産性の向上を図り、業務の効率化や改善につなげていきます。

05 組織改編

村民サービスの向上に向けて、これまで以上にスピード感を持ち、事業・施策を展開していくために、4月1日から村の組織が大幅に変わりました。これからも、さまざまな行政の課題等へ迅速に対応していくため、組織の在り方については、庁内や部内での流動を含めて柔軟に考えていきます。※組織改編についての詳細は、「広報とうかい」(3月10日号)または、村公式ホームページをご覧ください。

06 原子力政策

実効性のある広域避難計画の策定を目指し、引き続き、国や県、関係自治体と連携した避難訓練の実施や各種課題について関係機関との調整を続けます。また、「東海村“自分ごと化”会議」の成果の生かし方や村民との対話の進め方についても、さまざまな意見を参考に検討していきたいと考えています。原子力政策は、本村のまちづくりにとって、極めて重要なテーマであることから、今後も慎重かつ丁寧に対応していきます。

最重点施策



新型コロナウイルス感染症への対応

～感染予防と生活や経済活動の維持を軸に～

3回目のワクチン接種や小児接種について、村内医療機関での個別接種を滞りなく実施するため、引き続き万全の体制を整えていきます。また、コロナ禍で落ち込む経済への対策として、村内全世帯に配布するクーポン券(チラシ)により、対象店舗で割引が受けられる新たな取り組みを行うほか、昨年、多くの皆さんにご利用いただいたキャッシュレス決済ポイント還元事業を再び実施します。これらの取り組みにより、村内事業者を支援するほか、地域経済の活性化を目指します。

【主な事業】▽新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ▽クーポン割引キャンペーン事業 ▽キャッシュレス決済ポイント還元事業 ▽感染症予防対策支援補助金



「選ばれるまち」東海村

～ターゲットを絞った戦略的な取り組み～



東海村に移住する新婚世帯を対象に、住宅購入費用等(最大20万円)を補助する新たな取り組みを実施します。

このほか、空き家等の利活用を推進する取り組みや、市街化調整区域の立地基準を緩和するために基礎調査を開始するなど、「選ばれるまち」への施策を戦略的に推進します。

【主な事業】▽とうかい住まいる応援事業 ▽空家等解体・リフォーム工事費補助事業 ▽空家等対策支援補助事業 ▽土地利用実態調査事業



「暮らし」を支える福祉

～新しいアプローチによる福祉の推進～

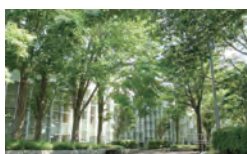
福祉の複合的な問題の解決に向け、福祉の各分野の相談支援業務を統合した「ワンストップ相談窓口」を、総合福祉センター「絆」内に整備します(11月ごろまでは、なごみ・総合支援センターで仮開設)。東海村社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、村民一人ひとりの「暮らし」を支える福祉を推進します。また、地域包括支援センターの運営を民間に委託し、村内の各中学校区へ設置することで、より身近で専門性を生かした支援機能へと強化します。

【主な事業】▽重層的支援体制整備 ▽多機関協働等事業 ▽地域包括支援センター運営事業 ▽高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業



カーボンニュートラルの推進

～温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して～



近年、地球温暖化の進行による影響と考えられる気候変動や自然災害など、さまざまな環境問題が顕在化

しており、対策への強化が求められています。村では、公共施設への再生可能エネルギーに関する設備の導入について調査を行います。また、各家庭においても、住宅の断熱性を高め、温室効果ガスの削減に取り組めるよう、省エネ設備の導入を支援する新たな取り組みを実施します。

【主な事業】▽再生可能エネルギー導入促進事業 ▽省エネ設備設置補助事業



魅力ある「まちづくり」

～都市環境基盤の整備で利便性を向上～

国道6号や水戸外環状道路などの幹線道路の整備を、国や県と連携しながら促進するほか、勝木田下の内線の開



通により住宅取得ニーズが高まる中央地区に、村民の新しい憩いの場となるよう神楽沢近隣公園を次年度にかけて整備します。また、JR東海駅東口の駐輪場の過密問題を解消し、皆さんが安心して利用できるものとするため、限られた土地を有効に活用しながら、駅東駐輪場のリニューアルに着手します。

【主な事業】▽神楽沢近隣公園整備工事 ▽駅東駐輪場のリニューアル ▽中央土地区画整理事業